

北海道白糠養護学校

学校だより

第4号 令和2年12月25日発行

発行責任者 校長 仲條 正輝

【お問い合わせ先】

北海道白糠養護学校 学芸部

〒088-0351 白糠町和天別147-2

TEL/FAX 01547-2-5353

代表メール hakuyou@hokkaido-c.ed.jp

HP <http://www.shiranuka-yougo.hokkaido-c.ed.jp/>

2学期の終わりに寄せて

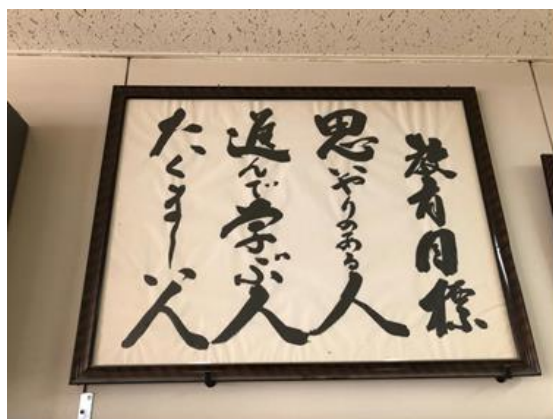
北海道白糠養護学校 教頭 小栗 陽介

12月になり日増しに寒さが身にしみるようになりました。4月にコロナが猛威を振るう中スタートを切った「白糠養護学校」ですが、今のところ大きな災難に見舞われることもなく、子どもたちの安全を守りながら順調に学校を運営できております。これもひとえに保護者・白糠学園の皆様のご協力あってのことと感謝申し上げます。

さて、先日配布した学校評価へのご協力ありがとうございました。集計を終えて、「他の学校は冬休みも短縮しているが、白糠養護は大丈夫なのか」とのご質問をいただきました。この場をお借りしてお答えすると、本校の試算では4月中旬から6月までの臨時休業で失った授業時間は、夏休みの5日間短縮と1学期間に授業時数を週1時間増やすことで、法律で定められた授業時数を確保できることがわかりました。また、元々臨時休業などを見込んで、授業時数を多めに確保していたこともあり、冬休みの短縮は行わないことといたしました。

しかし、昨年との違いは大きく、親心としてご心配はごもっともです。法律で定められた時数は確保していても、学習活動すべてが昨年と同じレベルに戻るのか、などご心配は尽きないものと推察いたします。すべてにお応えできるものではありませんが、ギガスクール構想によるICT機器の活用によって学びの世界を広げたり、行事を成長の節目としてとらえてきた部分を改めたり等、教育方法の変化はめまぐるしく進んでいます。私たちは新しい学び方へと移行する、まさに節目にいるのではないのでしょうか。

下は本校の教育目標です。これは本校の学びの基本で、白糠養護学校を巣立つ子どもたちが必ず身につけるものです。コロナ禍でも周りに配慮できる「思いやりのある人」でいてほしい、昨年までの方法で学習ができなくても「進んで学ぶ人」であってほしい、健康を守る「たくましい人」であることも大事です。これらは私たちの願いです。そしてこんな時代だからこそ基本に立ち返り、学び方や授業の方法は変われども、目指す子ども像には変わりがないこと、その重みをかみしめながら、私たちの責任を痛感しているところです。



紙は色あせてきていますが、中身は・・・

卒業後の生活を想像しながら～進路指導について

本校では、高等部2、3年生を対象に、卒業後の生活への移行支援を目的として社会体験学習（現場実習）を行っています。内容や日数は、生徒の実態や希望に合わせて設定します。高等部2年生の段階では、卒業後の生活をイメージし、具体的にどんなところで生活するのかを知るために、高等部3年生の段階では、卒業後に実際に利用することを前提として行います。実習先を選ぶポイントとしては、日中の活動が本人の実態に合っているか、その施設の利用者さんの関係性、雰囲気が生徒にとってなじめるのかなど、様々な視点をふまえて選択することが必要です。これらは、見学だけでは分かりにくく、実際に体験する（生徒によっては複数日）ことで分かることが多くあります。「成人とは」「社会とは」という概念がこの社会体験学習を通して形成され、それぞれの自己理解、自己実現につながればと考えています。学校・保護者・白糠学園・地域が連携を図り、子ども達一人一人がより良い社会生活を実現できるよう、今後とも本校の教育活動にご理解ご協力をお願いいたします。

（相談支援部：池田 千春）

特別支援教育コラム

新型コロナウイルス感染症が各地で拡大しています。これからインフルエンザも流行する時期ですが、どちらのウイルスも飛沫感染・接触感染によって広がっていく感染症です。

感染症を予防するには、様々な方法がありますが、いちばん身近な対策として、「手洗い」は欠かせない生活の一部になっています。

特別な支援を要する子ども達の中には、マスクができないお子さんもいますが「手洗い」は、支援が必要でも、一律でみんなができる予防策だといえます

うがい・てあらい週間 ～11月30日から12月4日～

本校では、年2回「うがい・てあらい週間」として、全校で感染予防のための強化週間があり、後期は11月下旬から1週間の期間を設けて行いました。

今年は特に「手洗い」に力を入れて、正しい手洗いが意識してできるよう指導にあたっています。

新しい生活様式が求められるなか、子ども達には、手洗いをはじめ感染症から自分や周りの人を守る手段を身につけて欲しいと思います。



（健康安全部：阿部 美香）



<はくようギャラリー>



令和3年1月20日（水）～2月3日（水）15時まで、白糠町社会福祉センターロビー内（住所：白糠町東3条南1丁目2-32 電話：01547-2-2287）において、本校児童生徒が作成した作品を展示しております。今年度の学習で作成したもの（絵画、工作、彫像、手芸など）を出品いたしますので、ご覧いただき日頃の本校の教育活動にご協力ご理解いただければと思います。

（学芸部：加藤 優）

～各学部の様子～

小学部

12月に入り、6年生の2名の児童は、中学部への進学に期待感を持ちながら日々の学習に取り組んでいるところです。

各教科等の授業では、知識や技能の習得だけではなく、「身なりを整える」、「道具の準備や後片付けに進んで取り組む」、「最後まであきらめずに取り組む」、「自分なりの方法で相手に伝える」など、意欲や態度の面についても、具体的な目標を提示しながら進めています。

「かっこいい中学生になりたい!」「様々なことに自分の力でチャレンジしたい!」という児童の気持ちを受け止め、尊重しながら、3学期は「小学部のまとめの期間」として、丁寧な授業作りや日常生活の指導に努めていきます。

(小学部：佐藤 茂枝美)



中学部

12月の生活単元学習は小中学部合同で、冬の生活について学習しています。先日は、冬にはどのような行事があるのか意見を出し合ったり、年賀状作りを行ったりしました。また、12月24日のクリスマス会に向けて、クリスマスツリー作りや出し物の練習などの準備が始まりました。普段とは異なる集団での学習に、にぎやかで楽しいだけではなく、学部の垣根を越えて刺激を受け合う良い機会となっています。

(中学部：岩井 由貴子)



高等部

白糠高校との交流及び共同学習は、新型コロナウイルス感染症対策に伴い回数を2回に厳選して行いました。1回目は、10月15日(木)に本校を会場にして、作業学習の内容を白糠高校のみなさんと一緒に体験したり、自己紹介等をしたりして交流を深めました。窓の清掃、ペットボトルの分別、紙袋の制作、裂き織り、マスクケース作り等のグループに分かれ、やり方の説明をしたり、使用するパーツを一緒に選んだり、協力しながら作業体験を行いました。2回目は、12月15日(火)にZoomを利用して、お互いダンスや歌の発表に取り組みました。初めはスクリーンに白糠高校の皆さんが映っているのを不思議そうにしている生徒もいましたが、この日に白糠高校の皆さんに発表するということを励みに保健体育等で取り組み、発表が終わって拍手やコメントを聞くと、生徒達は充実感ある表情になっていました。これまでの交流のスタイルとは違ったリモートでの交流及び共同学習も貴重な体験となりました。

(高等部：伊藤 ルナ)



小学部見学旅行 In 帯広

9月17日と18日の1泊2日で、小学部6年生2名で見学旅行に行ってきました。1日目はばんえい競馬場に隣接しているとかち村を訪れ、ふれあい動物園で馬やヤギに餌やりを体験しました。普段見ない大きな馬たちに少し怖がる様子が見られましたが、上手に餌やりをすることができました。また、お土産屋さんで自分や家族そして学園職員さんのお土産として、馬のキーホルダーを買いました。ホテルでは美味しい夕食を食べ、温かい温泉に入ることができ子ども達は満喫できた様子でした。2日目はおびひろ動物園に行く予定でしたが、十勝で新型コロナウイルスの感染者が出たことと大雨のため中止となってしまいました。それでも、列車の出発までホテルでぬりえをしたりトランプでトランプタワーを作ったりババ抜き、神経衰弱をしたりして楽しんでいました。帰ってきてから感想を聞くと「楽しかった」という言葉が聞かれました。今回の旅行が小学部のよい思い出になってくれればと思います。



(小学部：石井 秀明)

高等部見学旅行 In 千歳

見学旅行を終えて

高等部三年 上西 世也

九月三十日(水曜日)僕たちは、電車にのって千歳に行きました。千歳水族館でサケの採卵体験をしました。サケをはじめてさわって、たのしかったです。

十月一日(木曜日)僕は電車にのって新千歳空港にいきました。フライトシュミレーションはコロナで体験できなくて残念でした。つぎにドラえもんスカイパークにいきました。その後、31でキャラメルアイスを食べました。自主研修が終わって電車にのってガストにいきました。ヒレかつていしょくおいしかったです。

十月二日(金曜日)僕はイオンでハンバーガーとジュースを買って食べました。美味しかったです。バスにのってレラに行きました。

旅行に行って、空港に行ったり、へやでトバを食べたりしたことがたのしかったです！

